

講 義 要 項

授業科目		緩和ケアを必要とする人の看護		担当者	中俣 直子
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	15 時間	講義・演習・DVD・その他		2 年次・前期
授 業 目 標	<p>1. 緩和ケアの概念を理解し、緩和ケアを必要とする人への身体的・精神的・社会的・スピリチュアルなケア介入の方法と意思決定支援、および倫理的課題について理解することができる。</p> <p>2. 対象となる人を生活する人捉え、その全人的苦痛を緩和する方法を理解し、その人にとって最良のケアとは何かを述べることができる。</p>				
授 業 計 画	<p>1. 緩和ケアの歴史と概念および日本における緩和ケアの現状と今後の展開</p> <p>2. 緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援(ACP)およびチーム医療について</p> <p>3. 緩和ケアにおける看護介入</p> <p> 1) 身体的ケア</p> <p> 2) 精神的ケア</p> <p>4. 緩和ケアにおける看護介入</p> <p> 1) 社会的ケア</p> <p> 2) スピリチュアルケア</p> <p>5. 退院支援と在宅ケア</p> <p>6. 看取り時のケアおよび家族ケア</p> <p>7. 緩和ケアにおける倫理的課題</p>				
参 考 文 献 等	<p>1. 系統看護学講座 別巻(10), 緩和ケア, 医学書院.</p> <p>2. 経過別成人看護学4, 終末期看護, エンドオブライフケア, メジカルフレンド社.</p>				
評 価	<p>1. 単位修得試験</p> <p>2. 授業の出席状況</p>				
備 考	<p>実務経験：緩和ケア認定看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。</p>				